



東台福浦小学校

食育かみかみチャレンジとほめほめ活動

平成18年度から、学校保健委員会では「体によい習慣を身につけよう」をテーマに活動しています。具体的には、「休み時間に楽しく体を動かすこと」「給食をよくかんで食べること」この二つのことができるように工夫し、毎月、全校児童で取り組んでいます。

昨年度は、休み時間になかよしグループ(縦割り班)で長なわとびやリレー、ドッジビーなどで楽しく体を動かしました。「なかよしグループでの遊びは楽しい。



もっと増やして欲しい。」という声がたくさんありました。

給食時には「一口30回以上かむこと」を意識し、「かみかみセンサー」を使って一食でかんだ回数を調べました。

児童は取組みの成果を「咀嚼力判定ガム(色が変わる特別なガム)」で実感することができます。さらに、「ほめほめ活動」でがんばったこと、できるようになったことをクラスやなかよしグループの友だちに話し、努力

を認め合います。そして、「がんばったね。」「すごいね。」などの「ほめほめサイン」を交換します。

今年度も「体によい習慣」がより身につくように、取組を続けていきます。



取組の感想

「かみかみセンサーをやったのは、自分であんなにかめるとは思いませんでした。」「かめばかむほど飲み込みやすくなりました。一口60回ぐらいかみました。楽しかったです。給食では1,410回かみました。」

4月にテレビ朝日のクイズ番組でかみかみセンサーを使っている様子が放映されました。



湯河原中学校

自転車の乗り方・交通安全教室の実施

例年1年生を対象に行っている「自転車の乗り方・交通安全教室」を、6月4日(木)に体育館で開催しました。当日は、1年生209人と何人かの保護者、地域の方々などが参加し、小田原警察署交通課の方や西湘地域県政総合センター安全防災課の方々にご指導いただきました。



実際の事故の映像や町内の交差点の写真をスライドで見ながら、自転車の乗り方(交差点での注意事項)や暴走族の実態などをお話して

いただき、普段あまり気にせずに乗っていた自転車の「危険性」や「暴走族の怖さ」を知ることができました。

次は、実施後の生徒の感想の一部です。

「自転車の二人乗りは、危険だし、一時停止は大切なことだなと改めて思いました。暴走族は、そんなに怖いものだとは思っていなかったけど、話を聞いたらすごく怖いし、入ってしまったら自分のためにもならないから、



絶対に入りたくないと思いました。」「あまり自転車に乗らないけど、乗る時はルールをちゃんと守って安全に乗りたいです。暴走族は、入っても良いことはないと思うし、危険なことをするので絶対に入らないように、今後も、今日の話をお忘れずに安全に暮らしたいと思います。」